

前立腺がん

前立腺がんは、膀胱の下、直腸の前にある男性生殖器官の腺である前立腺の組織で形成されます。

皮膚がん以外では、前立腺がんが米国人男性に最も多くみられます。



徴候と症状

- 排尿の開始が難しい
- 尿の流れが弱い、または途切れる
- 特に夜間に頻尿になる
- 膀胱を完全に空にするのが難しい
- 排尿中に痛みまたは灼熱感がある
- 尿または精液に血が混じる
- 背中、腰、骨盤の痛みが治まらない
- 射精時に痛みがある



リスク因子

すべての男性に前立腺がんのリスクがありますが、高齢の男性ほど発症する可能性が高くなります。

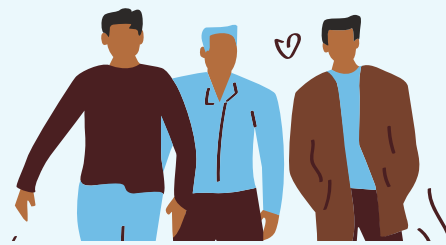
- 前立腺がんの家族歴がある
- 乳がん、卵巣がん、または膵臓がんの家族歴がある
- 肥満である



予防

前立腺がんを予防するための確実な対策はありませんが、前立腺がんのリスクを軽減するためにできる予防法がいくつかあります。

- 野菜や果物を多く含む健康的な食事をし、脂肪分の多い食品を控える。
- 健康的な体重を維持し、体を動かす
- 喫煙と飲酒を控える



統計

ユタ州保健局によると、人種的にハワイ先住民または太平洋諸島民である男性は、前立腺がんの発症率が有意に高かったことが示されました。

アジア系インド人/パキスタン人、フィリピン人、ハワイ先住民、太平洋諸島民の男性は、非ヒスパニック系白人と比較して有意に悪い転帰を示しました (Chao et al., 2016)

ハワイ先住民および太平洋諸島民の男性は、前立腺がん特異的死亡の高いリスクが認められました (Chao et al., 2016)。

前立腺がんのスクリーニング検査：

前立腺がんの正式なスクリーニング検査は存在しませんが、前立腺に対するスクリーニング検査が使用されています。

前立腺がんのリスクが平均である男性は、50歳から毎年（1年に1回）、直腸指診（DRE）および前立腺特異抗原（PSA）の血中濃度を用いたスクリーニング検査を受けます。

このような検査により、症状が出る前に前立腺の問題を発見することができます。

前立腺特異抗原（PSA）検査は、前立腺で作られる物質である PSA の血中濃度を測定する血液検査です。血中の PSA が高いと、前立腺がんを患っている男性では、より高い値を示すことがあります。直腸指診（DRE）とは、医療従事者が手袋をはめ、潤滑油を塗った指を男性の直腸に挿入し、前立腺にがんなどの異常がないかどうかを調べる検査です。

(From the Centers for Disease Control and Prevention)

リソース

- **American Urological Association Foundation:** auanet.org
- **American Cancer Society:** cancer.org/cancer-information-in-other-languages.html
- **National Cancer Institute:** cancer.gov
- **'Imi Hale Native Hawaiian Cancer Network:** imihale.org/education_materials.htm#CancerScreening
- **California State University, Fullerton:** wincart.fullerton.edu/cancer_edu/index.htm
- **Asian American Health Initiative:** aahinfo.org/english/programs/progCancerInit.php#cprogram